

2-336

平成12年度

特別案件等調査報告書

— 集団「鶏育種・生産技術」—

平成13年1月

国際協力事業団

二本松青年海外協力隊訓練所

二青訓

JR

00-1

国際協力事業団二本松青年海外協力隊訓練所は、畜産関係の集団型5コースを実施しておりますが、そのなかのひとつが鶏育種・生産技術コースです。

開発途上国における養鶏技術の向上を目的としたこの研修コースの効果的な実施のためには、対象となる研修員の母国の状況を把握することが重要であることは言うまでもありません。国際協力事業団では、帰国研修員のフォローアップとして現地での状況を把握するなどの調査を実施しており、平成12年度は鶏育種・生産技術コースが調査の対象となりました。

この報告書は、鶏育種・生産技術コースの帰国研修員や同研修員所属機関等を訪問し、帰国研修員の活動状況・日本での研修の帰国後の効果・当該国の技術水準・技術的問題点を調査することで研修コースの計画・実施の際の参考とするために、タンザニア・ボツワナの両国に派遣された平成12年度特別案件等調査団の調査結果をまとめたものです。

現地調査にあたってご協力頂いた両国の政府、公的機関、民間企業の関係者及び現地の日本側関係者に対して深く感謝の意を表明するとともに、今後とも研修コースについてご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年1月

国際協力事業団
二本松青年海外協力隊訓練所
所長 花田 真人



青空市場 (Kariakoo 地区)
 生鮮食品のほかは日用雑貨や衣料、電気製品などが売られている。写真には写っていないが左手には市営卸売市場の建物があり、この中にも食肉市場のほか多くの商店がある。



タンザニア農業・協同組合省



帰国研修員と
 右から、末國、安養寺、松井、Mr. Lusuva Adrian Emil (1990年)、Mrs. Asha Ali Ameir (1993年)、Mrs. Mary Ombeni (1988年)



畜産部長室にて
 右から、Mr. Micheal Misabo (研修担当)、Mrs. Deborah Sungusia (JICA)、Mr. Morungu L. S. (畜産部次長)、末國、松井、安養寺



大規模養鶏場のプロイラー処理 (InterChick 社)
ホテル、レストラン向けのプロイラーは、内臓を抜いた冷凍丸と体として流通している。手前はレババー (肝臓) を別処理する女性従業員



村担当普及員 (Ms. Mrema) の経営する養鶏資機材販売店
右から、Ms. Mrema (VEO)、Ms. Edna Macha (MEO)、Ms. Zuhura Mwakijinja (JICA)、安養寺、松井



養鶏資機材の市場調査
Taraza 市場で聞き取り調査する調査団。説明者は、Dr. Sarinbo A. P. (MVO)



都市近郊養鶏場の鶏舎内部
鶏種はイサブラワン (フランス)。平飼い方式で衛生管理は必ずしも良好ではないが、改良種に配合飼料を使った近代的な養鶏の一例